

本件に関する情報解禁は、以下となりますので予めご了承下さいませ。

※7月6日(月)午後4時 情報解禁

【報道関係各位】

Music Cross Aid

ライブエンタメ従事者支援基金

令和2年7月6日

一般社団法人 日本音楽事業者協会

一般社団法人 日本音楽制作者連盟

一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応にご尽力いただいている医療機関の皆様、
および関係者の皆さまに、心より感謝と敬意を申し上げます。

日本のライブエンタテインメント産業を担う事業者・スタッフの 現在とその未来を支援する基金「Music Cross Aid」

ファンキー加藤、back number、Uruら イドエンターテインメント所属アーティストから寄付頂きました！

ファンキー加藤さんから賛同コメントも到着！

※最新情報等は、オフィシャルWEBサイト<<http://www.musiccrossaid.jp/>>でもご覧いただけます

一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会の音楽業界3団体は、ライブエンタテインメント産業が今、かつてない危機的な状況に立たされている中、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の継続が困難を極めている日本のライブエンタテインメント産業を担う事業者・スタッフの現在とその未来を支援する基金「Music Cross Aid」を2020年6月11日(木)に創設いたしました。

基金創設より約1ヶ月が経った現在、数多くの皆様よりご寄付を頂いておりますが、この度、株式会社イドエンターテインメントに所属する以下アーティストより、コンサートやアーティストグッズの収益の一部である2000万円を寄付していただきました。

【株式会社イドエンターテインメント所属アーティスト】



ファンキー加藤



モン吉

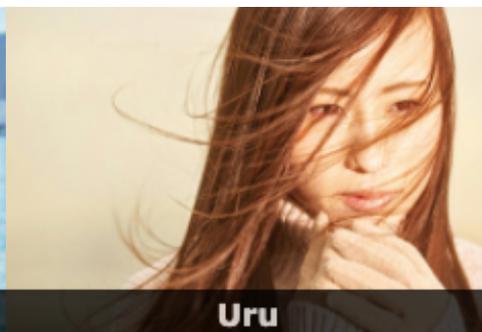
- ファンキー加藤
- モン吉
- back number
- SPICY CHOCOLATE
- 上村昌弥
- あゆみくりかまき
- THE BEAT GARDEN
- Uru
- 寿君
- ザ・モアイズユー



back number



SPICY CHOCOLATE



Uru

ファンキー加藤さんからの賛同コメント

2020年も下半期へと移り変わりましたが、未だエンタメ業界にとって厳しい日々が続いています。そんな中、演者と同様に…いや、それ以上に苦しい立場となってしまったスタッフの皆さんを支援する基金『Music Cross Aid』が創設されました。デビューしてから今まで、いくつものライブ会場で、数えきれないほどのライブパフォーマンスをしてきました。苦楽が入り交じるそのステージの傍らでは、常にたくさんのスタッフさんが僕たちのことを見守り、そして支えてくださいました。感謝の思いしかありません。我々イドエンターテインメントのアーティスト一同は『Music Cross Aid』に賛同させていただきます。ライブエンタメに関わるスタッフの皆様の“今”と“未来”のために、少しでも役立てていただけることを心から願っています。

「Music Cross Aid」とは

■基金の形態・運営スキーム

- 一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の3団体が設置者となって、公益財団法人パブリックリソース財団との提携により、音楽ライブエンタメ従事者支援基金「Music Cross Aid」を創設します。（今後、発展的に業界関連団体の参加や協力企業・機関、賛同人などの拡大を視野にしています）
- 本基金が受け皿となって、法人・個人からの寄付金やAIDプロジェクト収益金を受付けます。
※AIDプロジェクト収益金：ライブイベント、放送配信、グッズ製作販売等
- 1件3,000円以上の寄付をいただいた法人・個人の方には公益財団法人パブリックリソース財団により領収書が発行され、税控除を受けることができます。

■寄付金の使途・支援の内容

- 本基金に寄せられた寄付金・プロジェクト収益金を原資として、新型コロナウイルス感染症拡大防止によって活動停止を余儀なくされた日本のライブエンタテインメント文化事業の担い手である事業者（法人）や専門スタッフ等（個人）に対して、今後の活動に必要な資金を助成します。

「Music Cross Aid」基金創設による支援フロー



A : 資金調達

- ①AIDプロジェクト：3団体によるAIDプロジェクト事業収益（ライブイベント、放送配信、グッズ製作販売等）
- ②事業法人・団体からの寄付金
- ③個人からの寄付金

※法人・個人を問わず、1件3,000円以上の寄付に対して領収書発行＝税控除の対象

- パブリックリソース財団の企画・運営費：寄付金総額の上限10%を目途とします。事務局の企画・運営費は、基金の立ち上げ、リサーチ、公募プログラム策定と管理、公募、審査、領収証の発行、支援者の皆さまへの報告等にかかる費用となります。

B : 基金運営形態（公益財団法人パブリックリソース財団との連携により運営）

- 一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の3団体が運営委員会を結成し、運営方針に関してパブリックリソース財団と協議するとともに、助成の成果報告や会計報告を受けます。
- 支援目的・対象ごとに「支援・助成公募プログラム」を組成し、助成希望者を公募し、公平・中立な第三者による審査委員会により支援・助成先を決定します。

C : 支援対象

- 新型コロナウイルス感染症拡大及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連事業者（法人）
- 新型コロナウイルス感染症拡大及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連の専門スタッフ等（個人）